

2018年度 芸術科「音楽I」シラバス

科目	音楽I	単位	2	学年	1年 普通科 理数科	使用教科書	MOUSA 1 (教育芸術社)
----	-----	----	---	----	------------	-------	-----------------

1 科目の目標及び評価方法

科目の目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、生涯にわたって音楽を愛好していこうとする心情や態度を育む。日本及び世界の様々な音楽にふれ、楽曲そのものだけでなく、その背景となる文化や歴史についても理解を深め、幅広い視野で音楽を捉えられるようになる。
評価方法	定期考査・・・40% 実技テスト・・・40% 提出物・授業態度・発表点・その他等・・・20%

2 音楽Iの評価の観点、規準

	①音楽への関心・意欲・態度	②音楽表現の創意工夫	③音楽表現の技能	④鑑賞の能力
観 点	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	楽曲の諸要素を知覚し、それらの働きを感じながら表現を工夫し、表現の意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を近くし、それらの働きを感じながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。
規 準	楽曲の背景との関わり、曲想を生み出している音楽的な特徴に関心をもち、主体的に取り組もうとしている。	旋律、強弱、リズム、速度など知覚・感受し、楽曲にふさわしい音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。	イメージをもって音楽表現するために、発声や発音、読譜、楽器の奏法などを身につけ創造的に表している。	楽曲の文化的歴史的背景、作曲者による表現の特徴、演奏者による表現の特徴を理解を深め、良さや美しさを創造的に味わって聴いている。

3 学習計画及び評価方法等

学期	月	考 査 範 圍	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	主 な 教 材	評 価 の 観 点				評 価 方 法	配 当 時 間	進 行
						①	②	③	④			
1 学 期	4	期 末 考 査	【歌唱】豊かな声でハーモニオを楽しもう	①発声の基礎を学び、よい響きの声で歌い、よく調和する響きをつくる。	「校歌」 「ひまわりの約束」 「翼をください」	○	○	○		a	4	
	5		【歌唱】イタリア語の歌曲を歌ってみよう	①イタリア語の特徴を理解して、曲想と歌詞の内容から表現方法を読み取る。 ②イタリア歌曲とナポリ民謡に親しみ、曲の持っている表現について創意工夫する。	「O sole mio」 「Caro mio ben」	○	○	○		a c	6	
	6		【器楽】拍の流れを全員で共有しよう。	①2拍目、4拍目にアクセントがあるオフビートの音楽をメンバー全員で共有する。 ②強弱や拍子感をもって、打楽器アンサンブルとしても演奏効果を高める。	「Clapping Quartet NO.1」	○	○			a c	5	
	7		【鑑賞】クラシック音楽を味わおう①	①シベリウスの曲のもつ雰囲気を感じ取りながら、彼が生きた時代背景を踏まえて、作品に込められている祖国への思いも感じ取れるようになる。	「フィンランディア」	○			○	a c d	8	
2 学 期	9	期 末 考 査	【器楽】ギターを弾こう	①単旋律、コードでグループアンサンブルをする。 ②ギターでコードを弾きながら弾き歌いができる。	「ていんさぐぬ花」 「Happy Birth Day To You」	○	○	○		a c d	7	
	10		【創作】イメージをもって曲を創ろう	①日常生活をテーマに歌詞をつくり、コード進行にあわせて、旋律を創作する。	「自作曲」	○	○	○		a b c	10	
	11		【鑑賞】クラシック音楽を味わおう②	①シラーの頌歌をもとに、ベートーヴェンの表現した音楽から、その表現意図を読みとろう。	「ベートーヴェン第9番」	○			○	a d	7	
	12		【歌唱】歌い継ごう日本の心	①歌詞のストーリーを読み取り、日本語のイントネーションと旋律線の関係を理解する。	「この道」 「待ちぼうけ」	○	○	○		a c d	5	
3 学 期	1	学 年 末	【器楽】器楽アンサンブルに取り組み、音楽会を開こう	①グループ発表会を通して、音楽の要素を知覚しながら相互評価をする。 ②グループの興味関心に応じた選曲、楽器編成で自主的な音楽演奏ができる。	「威風堂々」 「木星」	○	○	○		a b d	10	
	3		【歌唱】合唱のよこび	①音楽表現に必要な要素を理解し、それらの働きを生かして歌う。	「Circle Of World」	○	○	○		a b c	8	

《評価方法》a. 授業に対する意欲/b. 学習ノート/c. ワークシート/d. 実技テスト・定期考査

2018年度 芸術科「音楽Ⅱ」シラバス

科目	音楽Ⅱ	単位	2	学年	2年 普通科	使用教科書	MOUSA 2 (教育芸術社)
----	-----	----	---	----	--------	-------	-----------------

1 科目の目標及び評価方法

科目の目標	音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。
評価方法	定期考査・・・40% 実技テスト・・・40% 提出物・授業態度・発表点・その他等・・・20%

2 音楽Ⅱの評価の観点、規準

	①音楽への関心・意欲・態度	②音楽表現の創意工夫	③音楽表現の技能	④鑑賞の能力
観点	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	楽曲の諸要素を知覚し、それらの働きを感じながら表現を工夫し、表現の意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。
規準	楽曲の背景との関わり、曲想を生み出している音楽的な特徴に関心をもち、主体的に取り組もうとしている。	旋律、強弱、リズム、速度など知覚・感受し、楽曲にふさわしい音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。	イメージをもって音楽表現するために、発声や発音、読譜、楽器の奏法などを身につけ創造的に表している。	楽曲の文化的歴史的背景、作曲者による表現の特徴、演奏者による表現の特徴を理解を深め、良さや美しさを創造的に味わって聴いている。

3 学習計画及び評価方法等

学期	月	考査範囲	学習内容	学習のねらい	主な教材曲	評価の観点				評価方法	配当時間	進行
						①	②	③	④			
1	4	期末考査	【歌唱】歌詞の内容を理解して、表情豊かに独唱曲を歌おう	①姿勢や発声に意識を向けるとともに、歌詞の内容を理解してイメージをもって歌う。 ②歌と伴奏それぞれの役割をよく理解して表現に生かす。	「Ave Maria」 「Nel cor piu non mi sento」	○	○	○		a b c	4	
	5		【鑑賞】ラテンアメリカの音楽について知ろう	①ラテンアメリカの音楽固有の特徴について理解を深めながら楽しんで鑑賞する。	「サンバ」 「ボサノヴァ」 「マンボ」など	○			○	a c	4	
	6		【器楽】ボディーパーカッションやリズム創作をしよう	①リズムの読譜や記譜に関心をもち音楽表現に生かす。 ②素材の構成に関心をもち、イメージをもって創造的かつ主体的にリズム創作に取り組む。	「プレデュード1」	○	○	○		a d	6	
	7		【鑑賞】クラシック音楽を味わおう①	①チャイコフスキーのバレエ音楽のもつ雰囲気を感じ取りながら、彼が生きた時代背景を踏まえて、台本、演出、音楽の深い関係性を感じ取れるようになる。	「バレエ音楽」	○			○	a c	6	
2	9	期末考査	【器楽】ギターを弾き歌いに挑戦しよう	①ギターの奏法と表現上の効果とのかかわりに関心をもち、主体的に取り組もうとしている。 ②基本的な奏法、タブ譜、コード譜を習得する。	「糸」 「夢の中へ」 「いとしのクレメンタイン」	○	○	○		a b d	8	
	10		【鑑賞】西洋音楽の歴史を理解するとともに、鑑賞の力を高めよう	①楽曲の文化的・歴史的背景や楽曲分析などから、楽曲の表現の特徴を理解するとともに、批判活動を通して主体的に鑑賞する。	「レクイエム」	○			○	a d	7	
	11		【歌唱】コーラスで美しい響きを追求しよう	①各声部の役割や声部間のバランスを理解するとともに楽曲にふさわしい表現やよりよい響きを習得し、アンサンブルを楽しむ。	「Hey 和」	○	○	○		a c	10	
3	12	学年末	【鑑賞】オペラやミュージカルを楽しもう	①オペラとミュージカルの表現形態の特徴を理解して、舞台作品を歌う喜びや鑑賞する楽しさを味わう。	オペラ「道化師」 ミュージカル「ウェストサイド物語」	○			○	a d	6	
	1		【創作】メロディーの創作と変奏や編曲に挑戦しよう。	①変奏や編曲に挑戦して表現の工夫の幅を広げる。 ②長調、短調の音階の特徴、旋律にふさわしい音の組み合わせ、つくった旋律にコードなどを作る。	モチーフを生かしてメロディを作ろう 「自作曲」	○	○	○		a c	15	
	2		【歌唱】音楽の世界を広げよう	①我が国も含めた世界の諸民族の声、楽器、身振りによる表現の特徴を理解し、音楽の多様性について理解を深める。	世界の諸民族の音楽 日本（演歌など）	○			○	a c	4	

《評価方法》 a. 授業に対する意欲/b. 学習ノート/c. ワークシート/d. 実技テスト・定期考査

2018年度 芸術科「音楽Ⅲ」 シラバス

科目	音楽Ⅲ	単位	2	学年	3年 普通科 選択	使用教科書	Joy of Music(教育芸術社)
----	-----	----	---	----	-----------	-------	---------------------

1 科目の目標及び評価方法

科目の目標	音楽作品についての演奏研究を通して、演奏における客観性と多様性を理解し、音楽の様式を尊重して演奏する能力を養う
評価方法	定期考査・・・40% 実技テスト・・・40% 提出物・授業態度・発表点・その他等・・・20%

2 音楽Ⅲの評価の観点、規準

	①音楽への関心・意欲・態度	②音楽表現の創意工夫	③音楽表現の技能	④鑑賞の能力
観 点	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心を持ち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	楽曲の諸要素を知覚し、それらの働きを感受しながら表現を工夫し、表現の意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を近くし、それらの働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。
規 準	「歌唱」「器楽」「創作」の表現領域、「鑑賞」の鑑賞領域に積極的に取り組んでいる。	基礎的、基本的な知識・技能を活用しつつ、生徒自身で説明、論述などの言語活動を通して、表現の工夫ができる。	発声や身体の使い方、読譜、楽器の奏法などを身に付け、創造的に表現している。	楽曲のもつ特性を、諸要素を関連付けながら鑑賞し、自分の言葉で感想を表現することができる。

3 学習計画及び評価方法等

《評価方法》

評価対象： a. 授業に対する意欲/b. 学習ノート/c. ワークシート/d. 実技テスト・定期考査

学期	月	考査範囲	学習内容	学習のねらい	評価の観点				評価方法
					①	②	③	④	
1	4	期末考査	声の探求① ・ Stand Alone ・ ムドレ-日本の心 「浜辺の歌」「砂山」	① 日本語の響き、抑揚と歌とのかかわりを考え歌曲を表現する ② 2部合唱の響きを感じて歌う。	○	○	○		a
	5		声の探求② ・ Ave Maria ・ Sent nel core	① 声の表現の素晴らしさを感じ取る。 ② イタリア歌曲の仮称表現の醍醐味を味わう。	○	○	○		a c
	6		器楽アンサンブルの響き① ギターを弾こう 「いとしのクレメンティン」 「G線上のアリア」	① 基本的な奏法や、タブ譜、コード譜を習得する ② 単旋律の奏法と、コード奏法で演奏する。 ③ 複数名でギターアンサンブルができる。	○	○	○		a b c d
	7		声の探求③ ・ kyrie eleison ・ Ave verum corpus 多様な声楽の演奏形態	①多様な声楽作品を味わう。 ②声楽のアンサンブルを通して、表現の技能を高める。	○	○	○		a b c d
2 学期	9	期末考査	声の探求④オペラを楽しむ オペラ「トゥーランドット」	①オペラの成立、総合芸術としてのオペラ、プッチーニの生い立ちなど、オペラ作品について学ぶ。	○			○	a c d
	10		声の探求⑤ ミュージカル「オペラ座の怪人」	①ミュージカルの歴史と作品について学び、オペラとミュージカルの違いを学ぶ。 ②世界遺産である沖縄の組踊について理解する。	○			○	a c d
	11		独奏/合奏 ・ 三線 ・ギター・キーボード 「島人ぬ宝」「三線の花」琉球音楽	①各個人の役割を果たせるよう、各楽器の奏法の習得を目指す。を活かして、グループアンサンブルで演奏する。	○	○	○	○	a b c
	12		合奏 グループアンサンブルの発表会にむけての取り組み	①グループ発表会を通して、音楽の要素を知覚しながら相互評価をする。 ②グループの興味関心に応じた選曲、楽器編成で自主的な音楽演奏ができる。	○	○	○	○	a b c d
3 学期	1 2	学年末	個人による演奏発表会に向けての取り組み	①個に応じて、習得したい楽器を選び、技能の向上と創意工夫された表現力を身につける。	○	○	○		a b c

平成30年度芸術・美術 I 学習指導計画(シラバス)

1 科目の目標 美術に関する専門的な学習を通して、美的体験を豊かにし、感性を磨き表現と鑑賞の基礎となる能力と態度を高める。

2 成績評価 ①課題作品、学年末テスト(70%)②学習態度の平常点(30%)・学習時の生徒の良い点や制作過程を重視し評価する。また、聞く態度、質問や関心、意欲の評価 *①、②を考慮し総合的に評価する。

月	単元・題材	指導内容・指導項目	時	重点指導目標	評価の観点	備考(準備)
4 5 6 7 9	自己紹介表	学習内容の説明、自分がイメージする自分を描き、様々な素材を重ね合わせ多様な表現方法を見つける	5	・相手に自分の事を絵でどう伝えていくのかを考えさせる	関心・意欲	教科書、フェイル、色鉛筆、マジック、その他の素材
	素描	絵を描く上で基礎となる素描の歴史、道具や技法の種類を学び今後の制作表現に生かす。	6	・素描に使用される様々な道具や技法を使って描き、表現意図に応じて道具や技法を選ぶことができる	関心・意欲・態度	画用紙、鉛筆・木炭、コンテ、割りばしペン、筆等
	色彩	今回初めて使用するアクリル絵の具の特徴を学び、色の持つ意味や配色等を学ぶ。	4	・色の仕組み、特徴をアクリル絵の具を使って色の原理を理解させる。 ・モダンテクニックを使って複雑な色合いの見本張を制作し、多様な表現方法を見つける。	関心・構想・思考	画用紙、アクリル絵の具、その他
	ステンドグラス	ステンドグラスの最大の特徴である透過光を生かしたデザインを考える。	12	・ステンドグラスの歴史、ガラス、透過光について学び光の美しさや魅力を感じ取ることができる。 ・自然の形をヒントにデザイン構成を考える。	発想・構想・表現	画用紙、マジック、アクリル絵の具、デザインカッター、カットマット、木工ボンド、黒画用紙、パネル

夏休みの課題 読書感想画、コンクール、高文祭、絵画展への挑戦

月	単元・題材	指導内容・指導項目	時	重点指導目標	評価の観点	備考(準備)
10 11 12	半立体	半立体の特徴を踏まえながら制作する	14	・半立体の特徴を学び理解する。 ・感性や想像力を働かせて構成を工夫する。	構想、技術	スチレンボード、画用紙、アクリル絵の具、その他
	ランチョンマット	伝統工芸の美意識や特質について理解する。	11	・沖縄の工芸について学び先人から受け継がれてきた伝統工芸に興味を持ち身近に感じることができる	感心・意欲	和紙、ラミネート、その他
	壁画原案	卒業式や入学式に使用する巨大壁画	6	・3年生の卒業をテーマに関連する言葉やキーワードを集め、構成する。	感心・意欲・創造	画用紙、絵の具、その他
1 2 3	インスタレーション	和の空間を演出する	8	・日本らしさ(和風)について情報を収集し、構想を練る。	発想・構想	プラ板、オーブントースター、マジック
	作品集表紙	1年で制作した作品集をまとめる。	4	・1年間にあった出来事を振り返り、作品集の表紙にふさわしい絵を描く。	発想・構想	画用紙、マジック、絵の具、その他

平成30年度芸術・美術Ⅱ学習指導計画(シラバス)

1 科目の目標 美術に関する専門的な学習を通して、美的体験を豊かにし、感性を磨き表現と鑑賞の基礎となる能力と態度を高める。

2 成績評価 ①課題作品、学年末テスト(70%)②学習態度等の平常点(30%)・学習時の生徒の
良い点 や、製作の過程を重視しし評価する。また、聞く態度、質問や関心、意欲の評価 *①、②、を考慮し総合的に評価する。

月	単元・題材	指導内容・指導項目	時	重点指導目標	評価の観点	備考(準備)
4 ・ 5 ・ 6 ・ 7	美術Ⅱについて自己紹介表	学習内容の説明、自分がイメージする自分を描き、様々な素材を重ね合わせ、多様な表現方法を見つける。	5	・自分の事を相手に伝えるための工夫 ・用意された素材を使って多様な表現方法を見つける。	感心・意欲・創造	教科書、ファイル、色鉛筆、マジック、その他
	素描	絵画表現の基礎となる素描の歴史、道具の使い方や用途によって使い分けことができ、今後の制作に生かすことができる。	6	・素描に使用される様々な道具や技法を使って描き、表現意図に応じて道具や技法を選ぶことができる	関心・意欲・態度	画用紙、鉛筆・木炭、コンテ、割りばしペン、筆等
	シンボルマーク制作	目的や条件などをもとに、デザインの効果を考えて創造的で心豊かな表現の構想を練ることができる。	12	・具体物を単純化したり、特徴を記号化して作られていることを理解する。	表現・創造	画用紙、アクリル絵の具、スチレンボード、その他
	合唱祭ポスター	9月に行われる合唱祭のポスターを制作し、学校行事を盛り上げる。	4	・視覚伝達デザインを意識した構成や配色を考える。	感心・意欲・創造	画用紙、アクリル絵の具、その他

夏休みの課題 読書感想画、コンクール、高文祭、絵画展への挑戦

月	単元・題材	指導内容・指導項目	時	重点指導目標	評価の観点	備考(準備)
9 ・ 10 ・ 11 ・ 12	立体制作	日本や沖縄の郷土文化をテーマに立体作品を制作する。	12	・360度、見ることを意識した立体制作。 ・場面設定をしたジオラマ制作。	関心・創造	教科書、紙粘土、画用紙、絵の具、その他
	フォトフレーム制作	美的造形性や機能性を主とする造形デザインを考える。	12	・思い出の写真を引き立てるようなデザインを考える。	発想・構想	段ボール、新聞、和紙、アクリル絵の具、金属着色剤
	壁画原案	卒業式や入学式に使用する巨大壁画の原案	7	・3年生の卒業をテーマに関連する言葉やキーワードを集め、構成する。	感心・意欲・創造	画用紙、絵の具、その他
1 ・ 2 ・ 3	コースター制作	伝統工芸の美意識や特質について理解する。	8	・沖縄の工芸について学び先人から受け継がれてきた伝統工芸に興味を持ち身近に感じることができる	感心・意欲	和紙、ラミネート、その他
	作品集表紙制作	1年で制作した作品集をまとめる。	4	・1年間にあった出来事を振り返り、作品集の表紙にふさわしい絵を描く。	意欲・鑑賞	画用紙、絵の具、その他

平成30年度芸術・美術Ⅲ学習指導計画(シラバス)

1 科目の目標 美術に関する専門的な学習を通して、美的体験を豊かにし、感性を磨き表現と鑑賞の基礎となる能力と態度を高める。

2 成績評価 ①課題作品(70%)②学習態度等の平常点(30%)・学習時の生徒の良い点や、製作の過程を重視し評価する。また、聞く態度、質問や関心、意欲の評価 *①、②、を考慮し総合的に評価する。

月	単元・題材	指導内容・指導項目	時	重点指導目標	評価の観点	備考(準備)
4 ・ 5 ・ 6 ・ 7	美術Ⅲについて自己紹介表	学習内容の説明、自分がイメージする自分を描き、様々な素材を重ね合わせ、多様な表現方法を見つける。	5	・自分の事を相手に伝えるための工夫 ・用意された素材を使って多様な表現方法を見つける。	感性、意欲、創造	教科書、ファイル、色鉛筆、マジック、その他
	素描	絵画表現の基礎となる素描の歴史、道具の使い方や用途によって使い分けることができ、今後の制作に生かすことができる。	8	・素描に使用される鉛筆や木炭を使って物の形を正確に測り、石こうをデッサンする。	関心、意欲、態度、技術	画用紙、鉛筆・木炭、練り消し等
	うちわ制作	用途と美しさの調和を考えて、日本の伝統的な表現の良さを生かした制作。	10	・染織の一方法である板締めで美しい紋様を染める。 ・うちわの構造を考えながらデザインを考える。	関心、表現、創造	画用紙、和紙、うちわ骨、のり、その他
	合唱祭ポスター	9月に行われる合唱祭に向けてポスターを制作し、学校行事を盛り上げる。	4	・発想する力、構成の感覚を育てる。目的や条件を理解して伝達できる	構想、技術鑑賞	ケント紙、アクリル絵の具、製図用具

夏休みの課題 読書感想画、コンクール、高文祭、絵画展への挑戦

月	単元・題材	指導内容・指導項目	時	重点指導目標	評価の観点	備考(準備)
9 ・ 10 ・ 11 ・ 12	模写	作品模写から絵画技法や表現技法を体感し、今後の作品制作の幅を広げる。	12	・グリッド転写の方法を活用し、模写作品の絵を写し取る。 ・色の重ねる順序を考えながら、着色する。	技術、鑑賞	ケント紙、アクリル絵の具、製図用具、その他
	木彫	木目の美しさや木肌の持つ温かさなどの特徴を生かし、材料や用途に合った制作方法を考える。	12	・箸先が揃うように作業を行う。 ・自分の手に馴染むよう細かな調整を行う。	関心、技術	角棒、カッターナイフ、サウンドペーパー、その他
	インスタレーション	空間を活用し、表現の場に変える。	7	・指定された場所を観察し、光や環境の変化を捉えて自己分析をする。 ・自分の表現したい意図を踏まえた材料を選ぶ。	関心、技術、鑑賞	マジック、プラ版、糸、鈴 その他
1 ・ 2 ・ 3	ドリームキャッチャー	アメリカの原住民に伝わる工芸品と文化の理解。	8	・制作を通してそれぞれの形や素材の意味を考えながら制作する。	関心、技術、鑑賞	糸、ビーズ、鳥の羽、その他
	作品集表紙制作	1年で制作した作品集をまとめる。	4	・1年間にあった出来事を振り返り、作品集の表紙にふさわしい絵を描く。	意欲・鑑賞	画用紙、絵の具、その他